

令和6年度

人吉高等学校 定時制課程

シラバス

2年

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	国語	科目	言語文化	単位数	3	開講 学年	2年
----	----	----	------	-----	---	----------	----

学習目標	<p>①（知識・技能） 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになることを目指す</p> <p>②（思考・判断・表現） 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになることを目指す</p> <p>③（主体的に学習に取り組む態度） 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができるようになることを目指す</p>
------	--

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (21時間)	【言語事項】② <漢字の学び直し>	(知 技) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになった。 (思判表) 主な常用漢字について、文や文章の中で適切に使い分けることができるようになった。 (主体性) 習得漢字を振り返り、漢字検定に向けて目標をもつことができるようになった。	(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出
	【古文】(古文入門)⑧ 古文を読むためにⅠ 古文を読むためにⅡ 古文の学習 絵仏師良秀 *単元テスト	(知 技) 歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりや品詞の種類についてのきまりを理解することができるようになった。 (思判表) 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取り、作品に表れているものの見方や考え方を捉えることが出来るようになった。 (主体性) 学習の見通しをもって、積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えることができるようになった。	(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出
	【近現代の詩歌】(詩)⑥ いしのうえ 一つのメルヘン 自分の感受性くらい	(知 技) 現代詩の基礎基本を理解することが出来るようになった。 (思判表) 作品に込められた作者の心情や、メッセージを読み取り、作品に表されているものの見方や考え方を捉え、内容を理解することができるようになった。 (主体性) 描かれた情景を読み取り、進んで作者の心情について話し合うことができるようになった。	(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出
	【漢文】(漢文入門)⑤ 漢文の学習 訓読に親しむ(一) 訓読に親しむ(二)	(知 技) 我が国の文化と外国の文化との関係について理解し、漢文を訓読するための基礎知識として、訓読のきまりを理解することができるようになった。	(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査

	<p>訓読に親しむ (三) * 単元テスト</p>	<p>(思判表) 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意味を知ることができるようになった。 (主体性) これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身に付けることができるようになった。</p>	<p>(思判表) ワークシート 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>
	<p>【言語事項】① 〈漢字・語句の意味〉</p>	<p>(知 技) 常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。 (思判表) 主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けられるようになった。 (主体性) 習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標をもつことができるようになった。</p>	<p>(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出</p>
<p>前期期末 まで (21 時間)</p>	<p>【漢文】⑦ 〈故事成語・戦国策〉 漁夫之利 狐借虎威 蛇足 * 単元テスト</p>	<p>(知 技) 漢文の訓読に慣れるとともに訓読のきまりを理解することが出来るようになった。 作品の歴史的・文化的背景を理解し、現在使われている言葉が漢文に由来することを知ることができるようになった。 (思判表) 文章の種類を踏まえて、たとえば話を読み解き、内容や展開を的確に捉えることができるようになった。 (主体性) 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめることができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>
	<p>【言語活動】② 故事成語の由来と意味を調べる 〔歴史の窓〕</p>	<p>(知 技) 故事成語の由来を調べ、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができるようになった。 (思判表) 課題に応じて調査することができるようになった。 (主体性) 故事成語の由来と意味を積極的に調べ、調べた内容を工夫してまとめることができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 相互評価 自己評価 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>
	<p>【古文】(随筆 1) ⑥ 〈枕草子〉 春はあけぼの はしたなきもの 古文を読むために 3 古文を読むために 4 * 単元テスト【古文】(日記)</p>	<p>(知 技) 語句の量や語彙を豊かにし、作品の歴史的・文化的背景を理解することができるようになった。 用言の活用について理解し、助動詞について理解することができるようになった。 (思判表) 自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解することができるようになった。 (主体性) 作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合うことができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 相互評価 自己評価 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>

	<p>【古文】(軍記物語)⑤ <平家物語> 祇園精舎 木曾の最後 * 単元テスト</p>	<p>(知 技) 語句の量を増やし、語彙を豊かにするとともに、敬語について文語のきまりを理解することができるようになった。 (思判表) 軍記物語という文章の種類を踏まえて、作品に表れている無常観や武士の生き方を捉えることができるようになった。 (主体性) 学習の見通しをもって作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>
	<p>【言語事項】① 漢字・語句の意味</p>	<p>(知 技) 常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。 (思判表) 主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けられるようになった。 (主体性) 習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標をもつことができるようになった。</p>	<p>(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出</p>
	<p>【漢文】(史伝)⑩ <十八史略> 完璧 先従隗始 臥薪嘗胆 * 単元テスト</p>	<p>(知 技) 訓読のきまりを理解し、語句の由来を知り、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができるようになった。 (思判表) 史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を理解することができるようになった。 (主体性) 積極的に史伝を読み、史伝の特徴を理解しようとし、たとえ話における論理を説明することができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>
<p>後期中間 まで (27 時間)</p>	<p>【古文】(古典の詩歌)⑩ <古典の詩歌> 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 古文をよむために7 * 単元テスト</p>	<p>(知 技) 語句の量や語彙を豊かにし、我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解することができるようになった。 (思判表) 我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、情景や心情など、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を理解することができるようになった。 (主体性) 作品に表れている情景や心情を粘り強く読み取り、これまでの学習を生かして和歌を鑑賞することができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>
	<p>【漢文】思想⑥ <論語> [歴史の窓]</p>	<p>(知 技) 訓読のきまりを理解し、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができるようになった。 (思判表) 日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、内容や展開を的確に捉え、孔子のものの見方や考え方を理解することができるようになった。 (主体性) 孔子について興味をもち、『論語』が</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト</p>

		我が国の文化に及ぼした影響について理解し、孔子の理想とするところを粘り強く説明することができるようになった。	定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出
後期期末 まで (21 時間)	【言語事項】① 漢字・語句の意味	(知 技) 常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。 (思判表) 主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けができるようになった。 (主体性) 習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標をもつことができるようになった。	(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出
	【漢文】(漢詩)⑨ ＜唐詩の世界＞ 春暁(孟浩然) 送元二使安西(王維) 春望(杜甫) 読家書(菅原道真) [歴史の窓] * 単元テスト	(知 技) 漢詩のきまり(詩形・押韻・構成・対句)について理解できるようになった。 (思判表) 中国の自然や、人間の心理が、詩にどのように読まれているかを考え、詩に表現されて作者の心情を理解することができるようになった。 (主体性) 唐詩や日本の漢詩を読み味わい、我が国の文化に及ぼした中国古典文学への関心を高めることができるようになった。	(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出
	【近現代の詩歌】(俳句)⑤ こころの帆	(知 技) 我が国の言語文化に特徴的な俳句の表現技法と、その効果について理解できるようになった。 (思判表) 俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する俳人の作品を味わい、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈することができるようになった。 (主体性) 作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分の物の見方、感じ方を豊かにすることができるようになった。	(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出
	【漢文】思想⑥ ＜論語＞ [歴史の窓] * 単元テスト	(知 技) 訓読のきまりを理解し、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができるようになった。 (思判表) 日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、内容や展開を的確に捉え、孔子のものの見方や考え方を理解することができるようになった。 (主体性) 孔子について興味をもち、『論語』が我が国の文化に及ぼした影響について理解し、孔子の理想とするところを粘り強く説明することができるようになった。	(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出

<p>終業式 まで (6時間)</p>	<p>【言語事項】⑥ 漢字・語句の意味</p>	<p>(知 技) 常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。 (思判表) 主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けることができたようになった。 (主体性) 習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標をもつことができたようになった。</p>	<p>(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出</p>
-----------------------------	-----------------------------	--	--

<p>使用教材 参考図書</p>	<p>【教科書】高等学校言語文化（第一学習社） 【その他】「実践文字カトリプルチェック」（尚文出版）</p>		
<p>学習方法</p>	<p>【主体的な学び】に関して 家庭学習（予習・復習） ・あらかじめ教材を読み、漢字の読み・書きを確認し、新出語句の意味を調べておく ・授業後は、教科書・ワークシート等をよく見直し、内容を再確認し、疑問点を明らかにする 授業 ・文章を正しく読むように努める ・板書を写すだけでなく、自主的にメモをとる 【対話的な学び】に関して ・自分の意見・感想をもつことから始め、考えをまとめることを丁寧に繰り返す ・授業者や他の生徒の意見、先哲の考え方などにも耳を傾ける 【深い学び】に関して ・既習事項を本時の学習内容と関連付けて、自分の考えをより深いものとし、さらに自分の考えを作り上げる</p>		
<p>評価方法</p>	<p>【知識・技能】について ・定期考査・単元テスト・漢字などの小テスト 【思考・判断・表現】について ・定期考査・単元テスト・漢字などの小テスト ・発問に対する解答や反応の観察 ・ワークシート・課題作文等 【主体的に学習に取り組む態度】について ・出席・授業態度・ワークシート（振り返りができているか）・提出物</p>		

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	地歴	科目	地理総合	単位数	2	開講 学年	2年
----	----	----	------	-----	---	----------	----

学習目標 何ができるようになるか	①（知識・技能） ・地球儀や地図を活用して世界の姿をとらえ、生活や文化の多様性について理解できるようになることを目指す ②（思考・判断・表現） ・地球的な課題について地理的に考えるようになることを目指す ・生活圏の諸課題について地理的に考えるようになることを目指す ③（主体的に学習に取り組む態度） ・地理について、よりよい社会の実現を視野に、防災等の課題を主体的に解決できるようになることを目指す
-------------------------	---

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (14時間)	●第1章 地図と地理情報システム	(知 技) ●日常生活の中で見られるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 現代世界のさまざまな地理情報について地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 (思判表) ●地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 (主体性) ●地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度
	●（序節）生活文化の多様性 1節 世界の地形と人々の生活	(知 技) ●地形を形成する内的営力と外的営力について、その原動力と作用を理解できるようになった。 ●川や氷河がつくる山地・平野のさまざまな地形について、侵食・運搬・堆積などの作用をふまえて理解できるようになった。 (思判表) ●地形と人々の生活との関わりについて日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考え、その過程と結果を結び付けられるようになった。 (主体性) ●地形と人々の生活との関係性について関心と課題意識を高め、考えるようになった。	(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度
前期期末 まで (14時間)	●2節 世界の気候と人々の生活	(知 技) ●それぞれの気候の成り立ちと、その地域に暮らす人々の生活について、基本的なことが分かるようになった。 (思判表) ●各気候区の特徴や人々の暮らしについ	(知 技) 考査 シート提出 課題提出

		<p>て、地域性や日常生活との関連をふまえて考えるようになった。</p> <p>(主体性) ●様々な気候と人々の生活に対する関心と課題意識をもてるようになった。</p>	<p>(思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度</p>
<p>後期中間 まで (18時間)</p>	<p>5節 世界の産業と人々の生活</p> <p>1 人々の生活を支える農業の発展</p> <p>2 人々の生活を支える工業の発展</p>	<p>(知 技) ●人々と農業の発展, 農業の発展と生産性, 農業の近代化とその課題について理解している。</p> <p>●工業の発達と生活の変化, 工業地域の地域差について理解している。</p> <p>(思判表) ●人々の工夫と農業の発展, 農業の発展と生産性, 農業の近代化とその課題について, 多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>●工業の発達と生活の変化, 工業地域の地域差について, 多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>(主体性) ●人々の工夫と農業の発展, 農業の発展と生産性, 農業の近代化とその課題について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている</p> <p>●人々の工夫と農業の発展, 農業の発展と生産性, 農業の近代化とその課題について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている</p>	<p>(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度</p>
<p>後期期末 まで (12時間)</p>	<p>第2章 地球的課題と国際協力</p> <p>3節 資源・エネルギー問題</p>	<p>(知 技) ●エネルギーの種類と資源利用の変化, 国によって異なる電力構成, 鉱産資源の利用について理解している。</p> <p>(思判表) ●エネルギーの種類と資源利用の変化, 国によって異なる電力構成, 鉱産資源の利用について, 多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>(主体性) ●エネルギーの種類と資源利用の変化, 国によって異なる電力構成, 鉱産資源の利用について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</p>	<p>(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度</p>
<p>終業式 まで (4時間)</p>	<p>第3部 持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>第1章 自然災害と防災</p>	<p>(知 技) ●我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に, 地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに, 自然災害の規模や頻度, 地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解</p>	<p>(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査</p>

		<p>する。さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技術を身に付ける。</p> <p>(思判表) ●地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>(主体性) ●自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>シート提出 課題提出 (主体性) 考查 シート提出 課題提出 授業態度</p>
--	--	--	--

使用教材 参考図書	<p>【教科書】：高等学校 新地理総合（帝国書院）</p> <p>【地図】：標準高等地図 一地図でよむ現代社会一（帝国書院）</p>
学習方法	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わからない文章や言葉があれば、「チェック」を付け、できるだけ調べておくこと。 ・教科書を読んで、「なぜ?」「どうして?」と思ったことを記録しておくこと。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問に思ったことや与えられた課題に対して、自分なりの考えをもって授業に参加すること。 ・わからなかったことや疑問に思っていたことを、クラスの仲間と対話しながら解決する姿勢で授業に参加すること。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスの仲間や先生との対話から、新しい発見や、さらなる疑問を見出し、それまでの自分の見方や考え方よりも、より広く深い見方や考え方ができるようになることを目指すこと。
どのよう に学ぶか	
評価方法	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・单元ごとの課題レポート ・定期考查 <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考查 ・单元ごとの課題レポート <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Google Classroom ・学習課題や授業に取り組む態度など
学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	数学	科目	数学A	単位数	2	開講 学年	2年
----	----	----	-----	-----	---	----------	----

学習目標	<p>①（知識・技能） 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。</p> <p>②（思考・判断・表現） 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付けることができる。</p> <p>③（主体的に学習に取り組む態度） 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>
------	---

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	自己評価欄
前期中間 まで (14時間)	●場合の数と確率 場合の数 14時間	<p>（知 技） 場合の数の数え方を理解し、和・積の法則を使って求めることができ、順列・組合せの計算ができる。</p> <p>（思判表） 順列と組合せの考え方を利用して、場合の数の求め方について考察できる。</p> <p>（主体性） 順列や組合せの考え方を利用することに関心をもっている。順列や組合せの考え方を利用して、身の回りの事象の場合の数を調べようとしている。</p>	<p>知 技： 考査、小テスト、演習</p> <p>思判表： 同上</p> <p>主体性： 発表、質問、課題</p>
前期末 まで (14時間)	確率 14時間	<p>（知 技） 確率の基本的な法則、排反事象や余事象の意味、独立な試行や反復試行の意味を理解し、確率を求めることができる。</p> <p>（思判表） 確率の基本的な法則、独立な試行や反復試行の確率について、具体的な事象の確率を考察できる。</p> <p>（主体性） 確率について関心をもち、具体的な事象の考察に、確率の考えを利用しようとしている。</p>	<p>知 技： 考査、小テスト、演習</p> <p>思判表： 同上</p> <p>主体性： 発表、質問、課題</p>
後期中間 まで (18時間)	確率 4時間	<p>（知 技） 条件付き確率の意味、期待値の意味を理解し、確率を求めることができる。</p> <p>（思判表） 条件付き確率について、具体的な事象の確率を考察できる。期待値を意思決定に活用できる。</p> <p>（主体性） 確率について関心をもち、具体的な事象の考察に、確率の考えを利用しようとしている。</p>	<p>知 技： 考査、小テスト、演習</p> <p>思判表： 同上</p> <p>主体性： 発表、質問、課題</p>
	●図形の性質 作図 8時間	<p>（知 技） 垂直2等分線、垂線、角の2等分線、平行線、等分点の作図の方法を理解し、作図ができる。</p> <p>（思判表） 定規とコンパスを用いているいろいろな作図ができることについて考察できる。</p> <p>（主体性） 定規とコンパスを用いているいろいろな作図ができることに関心をもち、進んで取り組もうとする。</p>	<p>知 技： 考査、小テスト、演習</p> <p>思判表： 同上</p> <p>主体性： 発表、質問、課題</p>
	三角形の性質 6時間	<p>（知 技） 角の2等分線と線分の比の関係を理解し、線分の長さを求めることができる。</p> <p>（思判表） 角の2等分線と線分の比の式を導く過程を考察できる。</p> <p>（主体性） 三角形の性質について関心をもっている。</p>	<p>知 技： 考査、小テスト、演習</p> <p>思判表： 同上</p> <p>主体性： 発表、質問、課題</p>

後期期末 まで (14 時間)	三角形の性質 6 時間	(知 技) 三角形の外心・内心・重心の性質を理解し、角の大きさや線分の長さを求めることができる。 (思判表) 三角形の外心・内心・重心などの性質を考察できる。 (主体性) 辺の長さや三角形の形状の関係や、三角形の成立条件などについて調べようとしている。	知 技: 考查、小テスト、演習 思判表: 同上 主体性: 発表、質問、課題
	円の性質 8 時間	(知 技) 円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接するための条件、円の接線と接点を通る弦のなす角の性質、方べきの定理および2つの円の位置関係について理解し、角の大きさや線分の長さを求めることができる。 (思判表) 円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接するための条件、円の接線と接点を通る弦のなす角の性質、方べきの定理および2つの円の位置関係について、その性質を考察できる。 (主体性) 円の性質について関心をもっている。	知 技: 考查、小テスト、演習 思判表: 同上 主体性: 発表、質問、課題
終業式 まで (4 時間)	空間図形 4 時間	(知 技) 正多面体にどのような立体があるか理解できる。多面体の性質を理解し、頂点の数などを求めることができる。 (思判表) 多面体の性質について、その性質を考察できる。 (主体性) 多面体の性質に関心をもち、いろいろな多面体で調べようとしている。	知 技: 小テスト、演習 思判表: 同上 主体性: 発表、質問、課題

使用教材 参考図書	【教科書】: 実教出版 高校数学A 【その他】:
学習方法 どのよう に学ぶか	【主体的な学び】に関して ・「なぜ」という疑問を大切に、問題解決の過程を重視するよう努めてください。 ・数学と生活との関連に目を向け、問題解決の目的意識をもち、数学を活用しようと努めてください。 【対話的な学び】に関して ・着眼点や発想を、まずは自分なりに表現するよう努めてください。さらに、お互いに理解し合えるように分かりやすく説明し表現しようと努めてください。 【深い学び】に関して ・どのように考えたら上手くできたのか、どのようなことを利用したのか、以前に学習した内容と似ているところはないか、などのように、新たに学んだことを振り返るようにしてください。
評価方法 学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	【知識・技能】について 定期考查、単元テストや演習等の到達度で評価します 【思考・判断・表現】について 定期考查、単元テストや演習等の到達度で評価します。 【主体的に学習に取り組む態度】について 授業中の発表、質問、課題への取り組み等で評価します。

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	2	開講 学年	2年
----	----	----	------	-----	---	----------	----

学習目標	①（知識・技能） 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技術を身に付けることを目指す。
	②（思考・判断・表現） 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けることを目指す。
何が できる ように なるか	③（主体的に学習に取り組む態度） 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けることを目指す。

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (14時間)	序章 化学の特徴 第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 ①混合物と純物質 ②物質とその成分 ③物質の三態と熱運動 第2章 物質の構成粒子 ①原子とその構造 ②イオン ③元素の周期表	（知 技） ・物質の分離や精製、元素の確認実験などを行い、実験における基本操作と物質を探究する方法を身に付けることができるようになった。 ・粒子の熱運動と温度との関係、粒子の熱運動と物質の三態変化との関係について理解できるようになった。 ・原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解するとともに、元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の属や周期との関係について理解できるようになった。 （思判表） ・純物質と混合物の違いが何であるか説明できるようになった。 ・物質を分離する操作がどのようなものであるかを説明することができるようになった。 ・いろいろな物質を単体と化合物に分類できるようになった。 ・単体と化合物の違いについて説明できるようになった。 ・同素体とは何かを説明できるようになった。 ・物質を加熱したり冷却したりしたときの温度変化を、グラフに表すことができるようになった。 ・原子について、どのような粒子から構成されているかを説明することができるようになった。 ・どのような原子が安定であるか、電子配置に基づいて説明できるようになった。 ・原子の電子配置から、その原子がどのようなイオンになりやすいかを判断できるようになった。 ・イオンのなりやすさについてイオン化エネルギーや電子親和力の値の大小と関連させて考えることができるようになった。 ・周期表の中に周期律が見いだせること、周期律は価電子の数の周期的な変化によることに気づき、価電子の数と化学的性質の関連について説明できるようになった。 （主体性） ・身のまわりの物質が純物質と混合物に分類されるこ	（知 技） ・単元テスト ・実験の操作 ・定期考査 （思判表） ・問題演習 ・実験の考察 ・定期考査 （主体性） ・授業の振り返り

		<p>とに興味をもち、意欲的に取り組むことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの混合物が、どのような純物質から構成されてるかに興味をもち、意欲的に取り組むことができた。 ・元素の概念に興味をもち、意欲的に取り組むことができた。 ・日常生活の中の物質の状態変化について興味をもち、意欲的に取り組むことができた。 ・同じ元素でも粒子の構成が異なるものがあることに興味をもち、意欲的に取り組むことができた。 ・原子とイオンの違いについて疑問をもち、意欲的に取り組むことができた。 ・各元素の特徴および周期表上の元素の配列について興味をもち、意欲的に取り組むことができた。 	
<p>前期期末 まで (14 時間)</p>	<p>第1編 物質の構成と化学結合 第3章 粒子の結合 ①イオン結合とイオンからなる物質 ②分子と共有結合 ③共有結合の結晶 ④金属結合と金属</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解できた。 ・イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解できた。 ・共有結合を電子配置と関連付けて理解できた。 ・分子からなる物質の性質を理解できた。 ・金属の性質及び金属結合を理解できた。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イオン結晶中のイオンの配置を示した模型およびイオン結晶の性質について説明することができるようになった。 ・原子間の共有結合を考えることによって分子の構造を予想することができるようになった。 ・分子の形を予想して、極性分子と無極性分子に分類できるようになった。 ・分子間力や分子結晶の性質を説明できるようになった。 ・付加重合や縮合重合について説明できるようになった。 ・ダイヤモンドと黒鉛の性質の違いを、共有結合の強さ、結晶構造、電子の移動をもとに説明できるようになった。 ・分子結晶との違いについて説明できるようになった。 ・金属特有の性質が自由電子によるものであることに気づき、金属結合および金属結晶の性質について説明できるようになった。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりにあるイオン結晶の性質に興味をもち、意欲的に取り組むことができた。 ・身のまわりにある分子からなる物質の成りたちについて興味をもち、意欲的に取り組むことができた。 ・通常の共有結合とはできるしくみの異なる配位結合について興味をもち、意欲的に取り組むことができた。 ・分子には極性分子と無極性分子があることに興味をもち、意欲的に取り組むことができた。 ・共有結合の結晶にはどのような物質があるかに興味をもち、意欲的に取り組むことができた。 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・実験の操作 ・定期考査 (思判表) ・問題演習 ・実験の考察 ・定期考査 (主体性) ・授業の振り返り

		<ul style="list-style-type: none"> ・金属特有の性質に興味をもち、意欲的に取り組むことができた。 	
<p>後期中間 まで (18 時間)</p>	<p>第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式</p> <p>①原子量・分子量・式量 ②物質 ③溶液の濃度 ④化学反応式と物質</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学反応に関する実験などを行い、化学反応式が化学反応に参与する物質とその量的関係を表すことを理解できるようになった。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異なる質量の原子が混在する場合、その平均の質量を表す方法を見いだすことができるようになった。 ・ある質量の物質の中に、原子や分子などが何個含まれているかを考えることができるようになった。 ・モル質量の概念を使い、粒子の数・質量と物質に関する計算ができるようになった。 ・モル体積を用いて、気体の体積と物質に関する計算ができるようになった。 ・2種類の濃度の求め方を理解し、その換算ができるようになった。 ・正しい化学反応式が表せるようになった。 ・化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積変化でとらえることができるようになった。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ原子でも異なる質量をもつものがあることに興味をもち、意欲的に取り組むことができた。 ・物質の概念について興味をもち、粒子の数・質量・気体の体積との関係について説明できるようになった。 ・溶液の濃さの表し方について興味をもち、意欲的に取り組むことができた。 ・多くの化学変化は化学反応式で表されることがわかるようになった。 ・化学反応式をもとに量的な関係をつかむことができた。 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・定期考査 (思判表) ・問題演習 ・定期考査 (主体性) ・授業の振り返り
<p>後期期末 まで (14 時間)</p>	<p>第2編 物質の変化 第2章 酸と塩基</p> <p>①酸・塩基 ②水の電離と水溶液のpH ③中和反応と塩 ④中和滴定</p> <p>第3章 酸化還元反応</p> <p>①酸化と還元 ②水の電離と水溶液のpH ③金属の酸化還元反応</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酸や塩基に関する実験などを行い、酸と塩基の性質及び中和反応に参与する物質の量的関係を理解できるようになった。 ・酸化と還元が電子の授受によることを理解できるようになった <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酸化数を求めることによって酸化還元反応を区別することができるようになった。 ・酸化還元反応の化学反応式を、酸化剤・還元剤のはたらきを示す反応式からつくれるようになった。 ・酸化還元反応における酸化剤と還元剤のはたらきを電子の授受に着目して説明できるようになった。 ・金属固有の性質をイオン化傾向で考えることができるようになった。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酸化と還元は同時に起こることに気づくことができた。 ・酸化還元反応の複雑な化学反応式も、そのもととなる反応式と電子の授受を考えることによって完成させ 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・実験の操作 ・定期考査 (思判表) ・問題演習 ・実験の考察 ・定期考査 (主体性) ・授業の振り返り

		<p>ることができるようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金属樹ができることに興味をもち、意欲的に取り組むことができた。 	
<p>終業式 まで (4時間)</p>	<p>第2編 物質の変化 第3章 酸化還元反応 ④酸化還元反応の利用</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な電池をつくることができた。 ・金属の製錬の方法について理解できた。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電池や金属の製錬が酸化還元反応を利用したものであることに気づくことができた。 ・電池の基本的なしくみについて、イオン化傾向や電子の授受に着目して説明できるようになった。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近にある電池の構造や反応のしくみに興味を持ち、意欲的に取り組むことができた。 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験の操作 (思判表) ・問題演習 ・実験の考察 (主体性) ・授業の振り返り

使用教材 参考図書	【教科書】：新編化学基礎（数研出版）
<p>学習方法</p> <p>どのよう に学ぶか</p>	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を受ける前に教科書をしっかり読んでおくこと。 ・疑問点（詳しく知りたいと思った所やよく理解できなかった所）に印を付けておくこと。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問点の解決及び授業目標の達成に向けてクラスメイトと協力して授業を受けること。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で作成したノートを用い、その日のうちにその日の授業の流れを思い出すこと。
<p>評価方法</p> <p>学習到達状 況をどのよ うに確認す るか</p>	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実験操作」、「単元テスト」、「定期考査」など <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実験の考察」、「確認テスト」、「定期考査」など <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「出席状況」、「実験に取り組む態度」、「ノート」など

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2	開講 学年	2年
----	------	----	----	-----	---	----------	----

学習目標 何ができるようになるか	①（知識・技能） 運動の多様性や体力の必要性について理解できることを目指す 仲間と適切な関係を築き、合理的な実践ができるようになることを目指す ②（思考・判断・表現） 課題を発見し、課題解決の過程を思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられるようになることを目指す ③（主体的に学習に取り組む態度） 公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人を大切にしようとするとともに、健康・安全を確保できるようになることを目指す
-------------------------	--

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (14時間)	◎体づくり運動 ●球技Ⅰ (バドミントン・ソフトテニス) ※ネット型	※ネット型 (知 技) ●状況に応じたラケットの操作ができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
前期期末 まで (14時間)	●ダンス	(知 技) ●感じを込めて踊ったり自己や仲間の課題を解決したりできるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
	●球技Ⅱ (バレーボール) ※ネット型	※ネット型 (知 技) ●連携した動きをすることができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	
後期中間 まで (18時間)	●球技Ⅲ (バドミントン) ※ネット型	※ネット型 (知 技) ●動きによって空間を作り出す攻防をすることができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
後期期末 まで (14時間)	●球技Ⅳ (バスケットボール・サッカー) ※ゴール型 ◎体育理論	※ゴール型 (知 技) ●空間を埋める動きができるようになった。 (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・端末での感想 (主体性)
終業式 まで (4時間)	◎体育理論 ※後期期末考査後から	※体育理論 (知 技) ●文化的特性や現代スポーツの発展について理解することができるようになった。	・出席状況 ・授業態度

使用教材 参考図書	【教科書】： なし 【その他】： なし
学習方法 どのよう に学ぶか	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの課題に対してアドバイスを聞いたり、練習したりする。 ・ 種目の特性やルール、行い方などを調べる。 ・ 皆と協力して活動する。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仲間の課題に対してアドバイスしたり、課題を共有したりして改善するよう話し合う。 ・ 動画を確認して互いの課題解決に向けて練習する。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題解決の実践方法を得るなど、合理的な実践ができるように、ICT を有効活用し、課題解決に向けた調べ学習などを行う。
評価方法 学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スキルテスト（実技）、端末等を使って動画撮影によるスキルテスト <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ活動、端末等を使っての授業の感想の提出 <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時間の点呼（出席状況）、授業態度 等
準備物	Chromebook 等の端末、 運動のできる服（夏：半袖シャツ、ハーフパンツ 冬季：上下ジャージ） 体育館シューズ、グラウンドシューズ※運動のできない服装での参加は不可。例：ジーパン、スカート、制服 等

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1	開講 学年	2年
----	------	----	----	-----	---	----------	----

学習目標	①（知識・技能） 個人及び社会生活における健康安全について理解を深めるとともに、心肺蘇生法など技能ができるようになることを目指す
	②（思考・判断・表現） 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考判断し、目的や状況に応じて他者に伝える事ができるようになることを目指す
何が できる ように なるか	③（主体的に学習に取り組む態度） 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が身に付くことを目指す

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (7時間)	<p>●社会生活と健康</p> <p>3-8. 働くことと健康 3-9. 労働災害と健康 3-10. 健康的な職業生活</p> <p>●生涯を通じる健康</p> <p>3-1. ライフステージと健康 3-2. 思春期と健康 3-3. 性意識と性行動の選択</p>	<p>（知 技）</p> <p>①働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解することができるようになった。</p> <p>②労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことを理解することができるようになった。</p> <p>③思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解することができるようになった。</p> <p>④結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解することができるようになった。</p>	<p>（知 技）</p> <p>・定期考査 ・ノート</p> <p>（思判表）</p> <p>・定期考査 ・ノート</p> <p>（主体性）</p> <p>・出席状況 ・ノート</p>
前期末 まで (7時間)	<p>3-4. 妊娠・出産と健康 3-5 避妊法と人工妊娠中絶 3-6. 結婚生活と健康 3-7. 中高年期と健康</p>	<p>⑤家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解することができるようになった。</p> <p>⑥中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することを理解することができるようになった。</p> <p>⑦高齢社会では、認知症を含む疾病等への対処、事故の防止、生活の質の保持、介護などの必要性が高まることなどから、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることを理解することができるようになった。</p> <p>（思判表）</p> <p>生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようになった。</p> <p>（主体性）</p> <p>各ライフステージにおける健康課題や対策について対応できる態度ができるようになった。</p>	<p>（知 技）</p> <p>・定期考査 ・ノート</p> <p>（思判表）</p> <p>・定期考査 ・ノート</p> <p>（主体性）</p> <p>・出席状況 ・ノート</p>
後期中間 まで	<p>●社会生活と健康</p> <p>4-1. 大気汚染と健康</p>	<p>（知 技）</p> <p>①人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土</p>	<p>（知 技）</p> <p>・定期考査</p>

<p>(9 時間)</p>	<p>4-2. 水質汚濁・土壌汚染と健康 4-3. 環境と健康にかかわる対策 4-4. ごみの処理と上下水道の整備</p>	<p>壤汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるという理解ができるようになった。 ②健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることを理解できるようになった。 ③上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることを理解できるようになった。 ④人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることを理解できるようになった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート (思判表) ・定期考査 ・ノート (主体性) ・出席状況 ・ノート
<p>後期期末 まで (7 時間)</p>	<p>4-5. 食品の安全性 4-6. 食品衛生にかかわる活動</p> <p>●生涯を通じる健康 4-7. 保健サービスとその活用 4-8. 医療サービスとその活用 4-9. 医薬品の制度とその活用 4-10. さまざまな保健活動や社会的対策 4-11 健康に関する環境づくりと社会参加</p>	<p>⑤食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、さまざまな基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることを理解できるようになった。 ⑥我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることを理解できるようになった。 ⑦健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることを理解できるようになった。 ⑧医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて理解できるようになった。 ⑨我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて理解できるようになった。 (思判表) 生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連づけて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようになった。 (主体性) 各ライフステージにおける健康課題や対策について対応できる態度ができるようになった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> (知 技) ・定期考査 ・小テスト (思判表) ・定期考査 ・ノート (主体性) ・出席状況 ・ノート
<p>終業式</p>	<p>レポート発表</p>	<p>(思考・判断・表現)</p>	<p>(知 技)</p>

<p>まで (2時間)</p>		<p>健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考判断し、目的や状況に応じて他者に伝える事ができるようになった</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート (思判表) ・レポート (主体性) ・レポート ・出席状況
---------------------	--	--	--

<p>使用教材 参考図書</p>	<p>【教科書】： 現代高等保健体育 【その他】：</p>		
<p>学習方法</p> <p>どのよう に学ぶか</p>	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を事前に読み、大事なところに線を引いたり、分からないことをメモしたりして授業時に質問できるようにしておく。(予習) ・スライドから大切と感じたことをノートにメモをとる。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークやグループワークの中で、自分の考えを伝えたり、相手の意見を聞いたり、大切なところはメモをとるようにする。 ・分からないところがあれば積極的に質問をする。 ・友人が困っている時には指示を伝えたり、ノートを見せたりする。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し、興味のあることや分からないところの調べ学習を行う。 ・レポート作成などで、自ら情報を集め、それらを整理してまとめる。 		
<p>評価方法</p> <p>学習到達状 況をどのよ うに確認す るか</p>	<p>【知識・技能】について 定期考査、単元テスト</p> <p>【思考・判断・表現】について グループワークの活動を評価したり、ワークシートの振り返りやレポートの記述の仕方、自らの評価等を参考に評価する</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について 出席状況や授業態度を基本に、自らの健康安全に向けた態度が身に付いているか、レポート作成や実習等の態度や授業に取り組む態度で評価する</p>		

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2	開講 学年	2年
----	-----	----	--------------	-----	---	----------	----

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習目標	聞くこと	「知識」 聞くことに必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになる。 「技能」 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞くことができるようになる。	事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えをしたり、要点を捉えたりすることができるようになる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されていることを聞こうとすることができるようになる。
	読むこと	「知識」 読むことに必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになる。 「技能」 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら読むことができるようになる。	説明、評論、物語、随筆などについて、目的に応じた読み方をすることができるようになる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれていることを読もうとすることができるようになる。
	話すこと[やり取り]	「知識」 やり取りの際に必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになる。 「技能」 説明や描写の表現を工夫して聞き手、話し手と効果的に伝え合うことができるようになる。	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて伝え合うことができるようになる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語で伝え合おうとすることができるようになる。
	話すこと[発表]	「知識」 発表する際に必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになる。 「技能」 説明や描写の表現を工夫して聞き手に効果的に伝えることができるようになる。	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて伝えることができるようになる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語で伝えようとするようになる。
	書くこと	「知識」 書くことに必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになる。 「技能」 説明や描写の表現を工夫して読み手に効果的に書いて伝えることができるようになる。	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて書いて伝えることができるようになる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的に英語で書こうとすることができるようになる。

何が
できる
ように
なるか

期間	単元 (学習内容)	評価規準：学習の到達状況 (目指す状態)	評価物
前期中間 まで (14 時間)	●Lesson 1 ●Lesson 2 ●Lesson 3	【読むこと】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について読み取り、聞き手に伝わるように読むことができる (主体性) ●英語で書かれていることを主体的に読むとすることができる	(知 技) ・小テスト ・中間考査 (思判表) ・授業中課題 ・中間考査 (主体性) ・授業態度
前期期末 まで (14 時間)	●Lesson 4 ●Lesson 5 ●Lesson 6	【聞くこと】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について聞き取り、要点を捉えることができる (主体性) ●英語で話されていることを主体的に聞くことができる	(知 技) ・小テスト ・期末考査 (思判表) ・授業中課題 ・期末考査 (主体性) ・授業態度
後期中間 まで (18 時間)	●Lesson 7 ●Lesson 8 ●Lesson 9	【話すこと (やりとり)】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる (主体性) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを主体的に話し合おうとすることができる	(知 技) ・小テスト ・中間考査 (思判表) ・授業中課題 ・中間考査 (主体性) ・授業態度
後期期末 まで (14 時間)	●Lesson 10 ●Lesson 11 ●Lesson 12	【書くこと】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、書いて伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に書こうとすることができる	(知 技) ・小テスト ・期末考査 (思判表) ・授業中課題 ・期末考査 (主体性) ・授業態度
終業式 まで (4 時間)	●年間まとめ	【話すこと (発表)】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、論理性に注意して話して伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に伝えようとする และสามารถ	(知 技) ・小テスト (思判表) ・授業中課題 (主体性) ・授業態度

使用教材 参考図書	【教科書】: Amity English Communication II 【その他】: 補助プリント
学習方法 どのよう に学ぶか	【主体的な学び】に関して 教科書の内容を予習し、自分の課題を見つけ、授業の中で解決できるようにする。 【対話的な学び】に関して 分からないことは積極的に先生やクラスメイトに尋ねることができるようにする。 相手の意見を尊重しながら、自分の意見も発信できるようにする。 【深い学び】に関して 異文化を理解するため、教科書の内容だけでなく、クロームブックを活用しながら他国のことや自国のことについて調べて、まとめることができるようにする。
評価方法 学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	【知識・技能】について 課題考査、定期考査、パフォーマンステスト等 【思考・判断・表現】について 課題考査、定期考査、授業中課題、パフォーマンステスト等 【主体的に学習に取り組む態度】について 授業態度、提出物、ポートフォリオ等

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2	開講 学年	2年
----	----	----	------	-----	---	----------	----

学習目標	① （知識・技能） 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技能が習得できるようになることを目指す
	② （思考・判断・表現） 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現を工夫するなど、生活を創造する能力を身に付けることができるようになることを目指す
何が できる ように なるか	③ （主体的に学習に取り組む態度） 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けることができるようになることを目指す

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	自己物
前期中間 まで (14時間)	●第1章 生活のマネジメント ・人の一生と生涯発達	(知 技) ●生涯発達の考え方に立ち、ライフステージごとの特徴と課題について理解できるようになった (思判表) ●高校生活の課題、自己の生き方、将来の家庭生活と職業生活のあり方について考えを深めながら、生活設計を立案することができるようになった (主体性) ●自分らしいライフスタイルや生活に関わる価値観、生活時間のあり方などをふまえ、将来の生活設計について考えることができるようになった	(知 技) ・定期考査 ・ワークシート (思判表) ・定期考査 ・ワークシート (主体性) ・定期考査 ・ワークシート
	●第2章 青年期の課題と自立 ・青年期の課題と自立 ・主体的に生きるための意思決定	(知 技) ●自立とは何かについて理解できるようになった ・青年期の自立について理解することができるようになった (思判表) ●自立や男女の平等と相互の協力などの青年期の課題について、自己の生き方と関連させて考えを深め、まとめることができるようになった ・自立とは何か、自立を達成するために今、できることは何かについて考え、まとめることができるようになった (主体性) ●人の一生を生涯発達の視点でとらえ、青年期の課題について考えることができるようになった	(知 技) ・定期考査 ・ワークシート (思判表) ・定期考査 ・ワークシート (主体性) ・定期考査 ・ワークシート
	●第3章 家族・家庭生活のマネジメント ・現代の家族・家庭 ・家族・家庭に関する法律 ・家族・家庭と社会	(知 技) ●現代の家族の特徴や家庭の機能について理解できるようになった (思判表) ●家族・家庭に関する法律をもとに、社会制度としての家族について考えを深め、まとめることができるようになった (主体性) ●固定的な性別役割分業意識の見直しや仕事と生活の調和、男女が協力して築く家族・家庭について意見交換ができ、実際の場面においても対応できる力を備えることができるようになった ・家庭の機能、家事労働と職業労働などに関心をもち、これからの家族のあり方や社会との関わりについて考えることができるようになった	(知 技) ・定期考査 ・ワークシート (思判表) ・定期考査 ・ワークシート (主体性) ・定期考査 ・ワークシート ・レポート

<p>前期期末 まで (14時間)</p>	<p>●第10章 衣生活のマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣生活をもつめる ・きごこちのよい被服 ・被服製作の基本 (被服製作実習) 	<p>(知 技) ●・用途や着用目的に合った被服材料の選択ができるようになった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布の裁ち方、まち針の打ち方、玉止め、玉結び、並縫い、まつり縫いといった縫製の基本技術が正しくできるようになった <p>(思判表) ●・健康と安全に配慮した被服の調達と活用などについて考えを深め、まとめることができるようになった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今、行なっている作業が、完成品のどの部分の工程なのかを縫製工程と照らし合わせながら作業することができるようになった <p>(主体性) ●・自分の衣生活について振り返り、課題を見付けようとすることができるようになった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被服材料の性能と特徴について、着ごこちなどに関連させて具体的に考えようとすることができるようになった 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・被服実習作品 ・実習記録 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・被服実習作品 ・実習記録 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・被服実習作品 ・実習記録
<p>後期中間 まで (18時間)</p>	<p>●第10章 衣生活のマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣生活の計画と管理 ・被服製作の基本 (被服製作実習) 	<p>(知 技) ●・洗剤の働きと汚れが落ちるしくみ、乾式洗濯と湿式洗濯の特徴や利用上の注意について理解できるようになった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布の裁ち方、まち針の打ち方、玉止め、玉結び、並縫い、まつり縫いといった縫製の基本技術が正しくできるようになった <p>(思判表) ●・環境に調和したライフスタイルのあり方について思考を深め、考えをまとめることができるようになった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今、行なっている作業が、完成品のどの部分の工程なのかを縫製工程と照らし合わせながら作業することができるようになった <p>(主体性) ●ライフステージや自分のライフスタイルに応じた健康で合理的な衣生活を送ることに関心をもつことができるようになった</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・被服実習作品 ・実習記録 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・被服実習作品 ・実習記録 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・被服実習作品 ・実習記録
	<p>●第5章 高齢期の生活のマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢期という時期 ・高齢期の生活と課題 ・高齢期の生活を支える高齢者福祉 ・高齢社会の現状と課題 	<p>(知 技) ●加齢にともなう心身の変化と特徴を理解し、それを支える具体的な方法や留意すべきことなどについて理解できるようになった</p> <p>(思判表) ●高齢者の心身の特徴の一般的变化と個人差に気づき、高齢者の生活の現状と課題について具体的に考えを深め、まとめることができるようになった</p> <p>(主体性) ●家族・地域における世代間交流の実践について考えることができるようになった</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート
<p>後期期末 まで (14時間)</p>	<p>●第8章 経済生活のマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の消費生活 ・消費者問題の現状と課題 ・消費者の権利と責任 ・消費生活における意思決定 ・家庭の経済生活 	<p>(知 技) ●生涯を見通した経済計画の必要性について理解できるようになった</p> <p>●契約や多様化する消費者問題の特徴を理解できるようになった</p> <p>(思判表) ●アルバイトや就職などを念頭におきながら、自分だったらどうするかについて考えを深め、まとめることができるようになった</p> <p>●多様化・複雑化する消費生活の課題について考えを深め、まとめることができるようになった</p> <p>(主体性) ●生涯に起こりそうなリスクを想定しながら、経済計画について具体的に考えることができるようになった</p> <p>●消費者問題の課題に関心をもつことができるように</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート

		なった	
終業式まで (4時間)	●第6章 共生社会をつくる ・ともに生き、ともに自立する ・生活と社会のセーフティネット	(知 技) ●・共生社会の理念について理解している ・自助・互助・共助・公助について、具体例とともに理解している ・リスク回避方法の一つとしてセーフティネットワークがあることを理解している ・ボランティアや地域活動に参加することができる (思判表) ●・自助・互助・共助・公助の具体的事例について調査・研究し、まとめたり発表したりすることができる ・共生社会の実現にむけて、自分の生活する地域ではどのようなことができるか、考えを深めたり、発表したりしている ・地域活動やボランティアの具体的事例について調査・研究し、まとめたり発表したりすることができる (主体性) ●・日常生活にある自助・互助・共助・公助のあり方について考えようとしている ・自分の能力をいかした地域活動について考えようとしている	(知 技) ・ワークシート (思判表) ・ワークシート (主体性) ・ワークシート
長期休業	●ホームプロジェクト	(知 技) ●・ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解できるようになった ・目標を明確にし、計画を立てて実践できるようになった (思判表) ●・生活の中から課題を見出し、課題解決に向けて思考を深め、適切に判断できるようになった ・見やすさなどを考え、スライドを作成し、発表することができるようになった (主体性) ●意欲をもって実践活動に取り組むことができるようになった	(知 技) ・ワークシート ・スライド (思判表) ・スライド ・発表 (主体性) ・スライド

使用教材 参考図書	【教科書】: <small>クリエイティブ リビング</small> 「Creative Living 『家庭総合』で生活をつくろう」大修館書店 【その他】: 新聞記事など
学習方法	【主体的な学び】に関して ・授業を受けながら、大切と感じた箇所等にアンダーラインを引く ・ホームプロジェクトにおいては、自らテーマを設定し、課題を見出し、その解決を図りながら、実践・改善等を行う 【対話的な学び】に関して ・单元ごとに新聞記事やグラフの読み取りを行い、自分の考えを記述し、班で意見交換を行う 【深い学び】に関して ・書籍や新聞等を利用し、学んだこととリンクさせ、深い学びに繋げる ・実験・実習を通して、知識を深める
評価方法	【知識・技能】について 定期考査、単元小テスト、被服実習作品、ホームプロジェクト 【思考・判断・表現】について 定期考査、単元小テスト、被服実習作品、実習記録、ワークシート、発表 【主体的に学習に取り組む態度】について 定期考査、被服実習、ワークシート、授業態度、ホームプロジェクト

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	2	開講学年	2年
学習目標	①（知識・技能） 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めることを目指す。 ②（思考・判断・表現） 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用することができるようになることを目指す。 ③（主体的に学習に取り組む態度） 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を身に付けることを目指す。	何ができるようになるか					
期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物				
前期中間 まで (14時間)	オリエンテーション 第1章 情報社会と私たち 第1節 情報社会 (2時間)	(知 技) データ、情報、知識の意味と相互の関係について説明することができるようになった。 (思判表) 情報の特性を活用した事例と、情報の特性によって生じる事例を挙げることができるようになった。 (主体性) 情報社会の現状についてインターネット等で調べることができるようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度				
	第2節 情報社会の法規と権利 (4時間)	(知 技) 個人情報の概念や個人情報保護について理解し、知的財産の体系を理解し、今後の課題を見付けることができるようになった。 (思判表) 個人情報について考え、知的財産権の権利の相違を判断することができるようになった。 (主体性) 個人情報の保護に関心を示し、知的財産権について意欲的に調べることができるようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度				
	第3節 情報技術が築く新しい社会 (6時間)	(知 技) POS システム、電子マネー、電子決済の仕組み、人工知能、IoT について説明できるようになった。 (思判表) IoT や人工知能などの情報技術を社会の問題解決に役立てる方法を提案することができるようになった。 (主体性) 社会の中の情報システムについて、インターネットで調べることができるようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度				
	第2章 メディアンとデザイン 第1節 メディアンとコミュニケーション (2時間)	(知 技) 電子メール、電子掲示板、ブログやSNS などの知識を持ち、ツールを適切に活用できるようになった。 (思判表) コミュニケーションツールのメリットデメリットの両側面を考え、コミュニケーションの方法を選択できるようになった。 (主体性) 電子メール、電子掲示板、ブログやSNS などのコミュニケーションツールについて関心をもち、意欲的に調べることができるようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度				
前期期末 まで (14時間)	第2節 情報デザイン (4時間)	(知 技) 情報を伝達する際の注意事項について理解し、画像や表を効果的に企画書に取り入れることができるようになった。 (思判表) 目的や対象を明確にし、企画書、文字、表、グラフ、写真等を工夫して表現することができるようになった。 (主体性) 個人で調べたり、グループで話したりして、企画書等の作成に、分かりやすく情報伝達しようと意欲的に取り組むことができるようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度				
	第3節 情報デザインの実践 (4時間)	(知 技) プレゼンテーション制作の流れを理解し、プレゼンスライドを制作できるようになった。 (思判表) プレゼンテーションのテーマやストーリーが適切に構成され、評価の視点で問題点を指摘できるようになった。 (主体性) プレゼンテーションの企画から制作・発表・評価まで意欲的に行うことができるようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度				

	<p>第3章 システムとデジタル化</p> <p>第1節 情報システムの構成 (6時間)</p>	<p>(知 技) コンピュータの構成や計算の仕組みについて説明することができる。</p> <p>(思判表) 情報機器を相互に接続するために、適切なインターフェースを選択することができる。</p> <p>(主体性) コンピュータを構成する装置とその性能について興味・関心を示し、自分で調べようとしている。</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
後期中間 まで (18時間)	<p>第2節 情報デジタル化 (8時間)</p>	<p>(知 技) アナログとデジタルの意味について理解し、デジタル化のメリットや圧縮の仕組みを理解できるようになった。</p> <p>(思判表) アナログとデジタルを比較して適切に選択し、情報量を適切に表現することができるようになった。</p> <p>(主体性) 情報のデジタル化や情報量に関心をもち2進数・10進数・16進数の相互変換に対して興味をもって取り組むことができるようになった。</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	<p>第4章 ネットワークとセキュリティ</p> <p>第1節 情報通信ネットワーク (4時間)</p>	<p>(知 技) インターネットの基本的なサービス内容と利用方法を理解し、各種インターネットサービスを活用できるようになった。</p> <p>(思判表) ネットワーク通信方式の相違を判断し、目的に応じて適切にインターネットサービスを利用しファイルを、効果的に圧縮することができるようになった。</p> <p>(主体性) ネットワークの特性や仕組みに興味をもって積極的に調べるようになった。</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	<p>第2節 情報セキュリティ (6時間)</p>	<p>(知 技) 情報セキュリティ対策の必要性を理解し、情報セキュリティを確保するための対策をとることができるようになった。</p> <p>(思判表) 情報セキュリティの脅威に対する対策を正しく判断し、対処することができるようになった。</p> <p>(主体性) コンピュータウイルスやサイバー犯罪の被害に遭わないよう対策を立てようとするようになった。</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
後期期末 まで (14時間)	<p>第4章 問題解決とその方法</p> <p>第1節 問題解決 (2時間)</p>	<p>(知 技) 問題解決の手順と解決するための工夫を理解し、検索エンジンやアンケートを利用して必要な情報を収集できるようになった。</p> <p>(思判表) 情報収集・整理・分析に必要なものを考え、問題解決の評価を適切に表現ができるようになった。</p> <p>(主体性) 問題解決のための計画や情報収集に率先して取り組むことができるようになった。</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	<p>第2節 データの活用 (6時間)</p>	<p>(知 技) 条件データの種類と尺度水準について理解し、収集したデータを整理することができるようになった。</p> <p>(思判表) 条件に合わせて適切に関数を選択し、課題に応じて利用するグラフを適切に利用できるようになった。</p> <p>(主体性) 問題解決のため、表計算ソフト等を用いて収集した情報を処理したり、グラフで可視化したりすることに興味をもつことができるようになった。</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	<p>第3節 モデル化 (6時間)</p>	<p>(知 技) モデル化およびシミュレーションが社会の問題解決でどのように利用されているかを例を挙げて説明することができるようになった。</p> <p>(思判表) 動的に変化する現象のいくつかの事例につ</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出

		いて、図的モデルや数式モデルで表し、表計算ソフトウェアを用いて、グラフを作成することができるようになった。 (主体性) 現実の現象についてのモデル化に関心を持ち、自ら進んでモデル化を試みるなど、自ら進んで学習することができるようになった。	(主体性) ・授業態度
終業式 まで (4時間)	第4節 シミュレーション (2時間)	(知 技) シミュレーションの意義や方法について説明することができるようになった。 (思判表) 表計算ソフトの関数を適切に選択・活用して、確率的モデルのシミュレーションをいくつか実行することができるようになった。 (主体性) 待ち行列を事例に、表計算ソフトで実施したシミュレーションを再計算するなどして、試行錯誤してシミュレーションができるようになった。	(知 技) ・考査 (思判表) ・課題提出 (主体性) ・授業態度
	第6章 アルゴリズムとプログラミング 第1節 プログラミングの方法 (2時間)	(知 技) アルゴリズムとプログラムについてそれぞれ説明することができるようになった。 (思判表) 簡単なアルゴリズムを文章やフローチャート等の図で表現できるようになった。 (主体性) 問題解決のためのアルゴリズムを考える学習に、興味をもって取り組むことができるようになった。	(知 技) ・考査 (思判表) ・課題提出 (主体性) ・授業態度
	第2節 プログラミングの実践	(知 技) 変数を使用して選択構造や反復構造のプログラムを作成することができるようになった。 (思判表) 関数を活用したプログラムを設計し、分かりやすく効率的なプログラムを作成することができるようになった。 (主体性) 問題解決のためのアルゴリズムを考え、粘り強く試行錯誤しながらプログラムを作成しようとすることができる。	(知 技) ・考査 (思判表) ・課題提出 (主体性) ・授業態度

使用教材 参考図書	【教科書】：「最新情報新I」（実教出版） 【その他】：各種メディアからの情報、プログラミング言語の参考本
学習方法	【主体的な学び】に関して 課題や目的に応じて情報手段を活用して、必要な情報を収集・判断・表現・処理し、発信・伝達できるようになってください。 【対話的な学び】に関して 言語活動の充実を図るために、課題に対する自分の意見や調べたことについてグループで話し合う活動に、しっかり取り組んでください。 【深い学び】に関して 情報活用能力を高めるため、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法を実践を通じて、理解できるようにしてください。
どのよう に学ぶか	
評価方法	【知識・技能】について 定期考査、単元テスト、実技テスト、プログラミングの演習 【思考・判断・表現】について 情報モラルの遵守やセキュリティ対策等のレポート作成や発表、グループでの話し合い 【主体的に学習に取り組む態度】について 実習課題への粘り強い取組、自己評価や相互評価等
学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	